

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 3月20日

事業所名 児童デイサービスあびらぼ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	7	0	0		
	②	職員の配置数は適切である	7	0	0		常に適切に配置されるよう 運営を保つ
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	7	0	0		身体障害のお子さんの受け 入れをしていないため現状 で維持できる
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	7	0	0	朝、夕のカンファレン スでビジョン共有、方 針確認、運営のプロ セス確認を行っている	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	5	2	0		常に適切な状態を作る為、 検討会議や業務改善を行う
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	7	0	0		
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	7	0	0	他施設からの外部 評価を行い業務改 善しています	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	7	0	0	定期で職員研修を 開催しています	
適切 な支 援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7	0	0	発達心理、脳科学を用いた 専門的視点でエビデンスを持 ち支援計画を作成したうえで 一般の方にもわかりやすく 明示しています	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	4	3	0	専門的指標やアセ スメントシートを用 いています	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	3	0	TT制度にてチ ームで行っていま	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4	3	0	年、月、週、日と、それ ぞれのプログラム立案に 応じPDCAを回していま す	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	3	0	年、月、週、日と、それ ぞれ個別ストーリーを描き 支援目標を立てていま す	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	7	0	0	年、月、週、日と、それ ぞれ個別ストー リー、プログラムを描 き支援目標を立てて います	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	7	0	0		ミーティングを行っているが、 もっと共有できるようフレ ム化した指標をつくる必要が ある
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	7	0	0		カンファレンスについては今以上にエ ビデンスに基づいた専門領域に 特化して結果をだしていく必要 がある
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	3	0		映像を取り入れた記録へ とシステム移行中
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	4	3	0		映像を取り入れた記録へ とシステム移行中

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	7	0	0		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	0		
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	3	0		もっと強固な連携をしていけるよう保育所等連携事業の準備をしている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	-	-	-	利用児として現在いない	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	3	0		もっと強固な連携をしていけるよう保育所等連携事業の準備をしている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	-	-	-	4年生までなので該当しない	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	3	0		個人で行っているため、全体研修を行えるよう体制を整えたい
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	4	0		公園などの場所で機会があるが、事業所として設けていないので検討したい
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	3	0		個人で行っているため、全体研修を行えるよう体制を整えたい
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	0	LINE、送迎時、Telで共有しています	映像を取り入れた記録で共有できるようにシステム移行中
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	0	0	必要に応じて行っています	
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	0	当施設の運営方針をご理解いただけるように丁寧に説明しています	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		0	必要に応じて行っています	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	7		コロナ等により活動を停止している
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	3	0		難しい課題ながら、マニュアルやヒアリングをもとに丁寧に迅速に対応しています。これから更に適切化を目指します
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	0		映像を取り入れた記録で共有できるようにシステム移行中

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑤	個人情報に十分注意している	7	0	0		
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や 情報伝達のための配慮をしている	5	2	0		配慮についてのフレームを作 成します
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域 に開かれた事業運営を図っている	0	0	7		以前は行っていたが、コロナに より活動を停止している
非常時 等の 対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に 周知している	5	2	0		保護者に対しての周知を しっかり行っていきます(避 難訓練の様様やマニュアル 配布)
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0		保護者に対しての周知を しっかり行っていきます(避 難訓練の様様やマニュアル 配布)
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	7	0	0	子どもの世界に 入っ た支援を徹底して い	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか について、組織的に決定し、子どもや保護者に 事前に十分に説明し理解を得た上で、放課 後等デイサービス計画に記載している	7	0	0	マニュアルや定期研 修を開催している	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の 指示書に基づく対応がされている	6	1	0	医師の指示書を しっかりいただき対 応しています	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	6	1	0		事例を口頭で行ってありま したが、事例集の作成をします

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。